Twinkle 東京女子医科大学学術リポジトリ
Tokyo Women's Medical University - Information & Knowledge Database
https://twinkle.repo.nii.ac.jp

Relationship between achievement of physical activity goal and characteristics of patients with rheumatoid arthritis

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 望月, 猛 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032097

様式（6）

学　位　審　査

学　位　番　号	乙　第 2984 号	氏　　名	望月　猛
審　査　委　員　会	主　査　教　授	北川　一夫	

論文審査の要旨（400 字以内）

本研究は関節リウマチ(RA)患者の活動量を評価し、活動量目標達成の有無の比較検討から活動量目標達成の関連因子を検討したものである。活動量を計測した RA 患者 137 例を対象とした。検討項目は年齢、性別、BMI、実臨床で使用される指標である患者 VAS　(global visual analogue scale)、疼痛 VAS、CRP、血沈、MMP-3、DAS(disease activity score)28-CRP, HAQ-DI(Health Assessment Questionaire Disability Index)とした。活動量目標達成率は 41.6%であった。関連因子の統計解析では、年齢、BMI、疼痛 VAS、HAQ-DI が関連因子として抽出された。ROC 解析により HAQ-DI のカットオフ値は 0.3（感度 48.8%、特異度 89.5%、AUC 0.735）であった。機能的評価の HAQ-DI は 0.5 未満で機能的寛解とされている。一方、活動量を目標まで保つには、これまでの機能的寛解では不十分であり、本研究結果から身体的寛解として、さらに高い治療目標が必要である可能性が示唆されている。RA 患者での日常生活レベルの向上に向けた臨床的な重要な研究テーマであり医学博士に相当すると判断する。

本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）[学校教育法学位規則第 8 条]